



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 32, January 2021

Newsletter



年頭の挨拶

公益財団法人日本学術協力財団
会長 吉川 弘之



科学者の助言

2020年は過酷な年だった。Covid-19のパンデミック、ウイルスの人類への攻撃を前にしてどのような対応を取るのか、各国の対応はいろいろであり、人への感染拡大の阻止と社会の経済の維持の両面での政策的対応は今でも方法が定まらず、ひたすらワクチンの完成を待つという状況にある。対応はすべての人を巻き込んだ努力が必要とされ、社会のあらゆるセクターの仕事にそして個人の生活に大きな変容をもたらした。しかし、終息の見通しは全く立っていない。

私たち科学者はこのような状況で何ができるのか、日本学術会議に与えられた使命から考えると、科学者にはこの状況下でのあるべき科学政策の視点からの助言と、この状況を乗り越えさらに発展を目指す諸分野の努力に効果的な助言とが求められる。前者の政策的視点からの助言は、新しい研究課題の提案は当然として、大学や研究機関の教育と研究の、このような外的環境の急変に対してより頑強な体制や技術の提案も求められている。

一方、科学の振興のためでなく、立法、行政、教育、医療、産業、それに加えて個人的行動などにおいて科学的知識を根拠とする現代社会を特徴づける多様な行為への助言が求められるが、これらもまた平常時の助言とは違う助言が必要である。私たちはこの視点からの助言として医師たちの助言を目の当たりにし、助言の意味を深く考える機会を与えられた。Covid-19の拡大を阻止するために、医師たちしか知らない感染の仕組みと医療の現状を背景として、社会の広い範囲で必要な行動変容について医師たちが注意を喚起し続けている。日ごろは治療や研究に専心しているであろう医師たちが、現在の危機に対して重要な助言を出し続けていることに私は感動し感謝するとともに、医学という学問が持つ現実の行為への助言の重要性を改めて認識している。

this issue

年頭の挨拶
学術会議叢書について
寄附金・賛助会費の所得税控除等
について
学術関係団体事務支援事業日本
学術会議地区会議について
データベース学会名鑑について
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄附金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人

日本学術協力財団

〒107-0052

東京都港区赤坂 4-9-3

TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL <http://jssf86.org/>

2021年1月1日発行

一方、その助言を受け入れて諸行動を決める社会の側の難しさも明らかとなった。私たちは今、感染拡大の阻止と経済の維持という明らかに相互に関係のある問題に直面しているが、この問題についての学問的立場からの助言は見えていない。単純には、この学問的助言とは医学と経済学の協力による助言といえるが、コロナの状況はもっと複雑で社会のすべてにかかわるから、いずれの領域の学問からも何らかの助言が必要であると考えられる。それはこれからの学問と社会の関係を予感させるが、私たちはそれがどのようなものか、想像すらできないでいる。その現実化が科学者に課せられた2021年の緊急の課題である。

学会議叢書 28

『日本の食卓の将来と食料生産の強靱化について考える（仮）』 の出版について

財団では、学術及びその成果を広く一般に普及するため、日本学会議の部や委員会・分科会において審議された内容や、公開講演会など各種シンポジウムの記録を基に編集を行い、最新の知見を加えて、『学会議叢書』を刊行しております。

令和2年度は、『日本の食卓の将来と食料生産の強靱化について考える（仮）』と題し、1月末に発刊を予定しています。現在、鋭意、作業を行っています。是非、ご期待ください。

なお、この叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成をいただき、全国約1,500か所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

内容ならびに執筆者は、下記の通りです。

【目次】

発刊に寄せて 梶田隆章

発刊にあたって 大杉立・澁澤栄

第1章 日本の食卓の変貌と現状

中嶋康博／清原昭子

第2章 日本農業の現実と可能性

納口るり子／立川雅司／小田切徳美

第3章 大規模農業と中小規模農業における農業技術の現状と展望

丸山幸夫／片岡圭子・久保康隆・土井元章

第4章 家畜等感染症の脅威

高井伸二

第5章 アニマルウェルフェア観点からの家畜生産と野生動物

佐藤衆介

第6章 水産資源と養殖

和田時夫・萩原篤志

第7章 地球温暖化による病虫害の出現

岩波徹

第8章 気候変動下における農業生産環境工学分野の最新の動向

荊木康臣・広田知良・北宅善昭

第9章 スマート農業技術とゲノム編集技術について

澁澤栄・高山弘太郎・安永円理子／遠藤真咲・土岐精一

第10章 食の安全、社会との対話について

西澤真理子

(敬称略)



寄附金・賛助会費の 所得税控除等について

公益財団法人である弊財団に対する寄附金・賛助会費は、特定公益増進法人への寄附金として確定申告により、税額控除等の税制上の優遇措置が受けられます。

個人の方の弊財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の税額控除または所得控除のいずれかを選択して受けられます。

また、本年1月1日現在、東京都にお住まいの方は、確定申告により、**個人住民税の税額控除**が受けられます。

法人の場合、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄附金に係る損金算入限度額に算入できません。

昨年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、本年の確定申告の際に必要な領収証等を、昨年12月10日から、順次、お送りいたしました。（本年1月以降に賛助会費をお振込みいただいた場合は、本年12月初旬頃に書類を送付する予定です。）

控除の限度額等の詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

学術関係団体事務支援事業

【日本農学アカデミー】

2020年11月7日、オンラインにて、シンポジウム「ウイルスとたたかう農畜水産」が開催されましたが、財団がその支援を行いました。



日本学術会議地区会議の 公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行いました。

◎北海道地区会議主催

「感染症との共存の現在と未来」

2020年11月7日（土）

於・オンライン開催



データベース学会名鑑 —令和2年度調査について

財団は、平成23年7月より、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と連携してデータベース学会名鑑の運用を行っております。掲載学会は、日本学術会議協力学術研究団体を対象とし、毎年、日本学術会議が行う実態調査を基にデータを更新しております。

本サイトは、学協会関係の各種施策の企画・立案等、社会の多方面で活用されています。

令和2年度調査は、令和2年10月より開始されておりますので、各学術団体の関係者の皆様におかれましては、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

データベース学会名鑑 URL：<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai>



学術会議叢書最新号
※お申込みは FAX にて
03-5410-1822

A5 判、264 頁
本体 1,800 円 + 税 (送料別)
賛助会員は割引価格
1,782 円 (税・送料込)

出版物のご案内

※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

品切れを除く近刊の書籍については
Amazon からもお買い求めいただけます。

学術の動向



A4 判・本体価格 720 円 + 税 (送料込)
年間購読 8,383 円 (税・送料込)
賛助会員は毎号 1 冊無料配布

- 20 年 10 月号 特集：ゲノム編集のヒト胚等への応用について
11 月号 特集：対話する環境学への視座
特集：環境汚染物質の Human Biomonitoring
12 月号 特集：原子力利用の安全性に関する新知見の評価をめぐって
—工学の取組みと他領域との協働
特集：壁を越える—ジェンダーがつなぐ未来へ

学術会議叢書

A5 判・本体価格 1,800 円 + 税 (送料別)
賛助会員は割引価格 1,782 円 (税・送料込)

- | | |
|----------------------------|--|
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 22 地殻災害の軽減と学術・教育 |
| 9 医療事故は予防できるか | 23 子どもの健康を育むために |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画 | 24 〈いのち〉はいかに語りうるか？ |
| 16 食の安全を求めて | 25 IT・ビッグデータと薬学
—創薬・医薬品適正使用への活用 |
| 17 グーウィンの世界 | 26 社会脳から心を探る
—自己と他者をつなぐ社会適応の脳内メカニズム |
| 18 科学を文化に | 27 持続可能な社会への道
—環境科学から目指すゴール |
| 20 放射能除染の土壤科学 | |
| 21 高レベル放射性廃棄物の
最終処分について | |

日学新書

新書判 本体価格 750 円 + 税 (送料別)
賛助会員は割引価格 743 円 (税・送料込)

- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり



◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。

今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

公益財団法人日本学術協力財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-3

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://jssf86.org/>